

活用していますか？ LINK-Jの会員サービス

LINK-Jは特別会員の皆様のビジネスをご支援するため、さまざまなサービスをご提供しています。
今回は、サテライトオフィス、宿泊施設をお得に利用できる優待サービスについてご紹介します。

01

多拠点型サテライトオフィス 「ワークスタイリング」 LINK-J会員なら特別優待料金で利用可能

LINK-J特別会員は、三井不動産が全国で約550拠点を展開している多拠点型サテライトオフィス「ワークスタイリング」を特別優待料金でご利用いただけます。ワークスタイリングは、全国に約10,000席を提供するシェアオフィスで、オープン席(ラウンジ)や、オンライン会議に便利な1人用個室、商談に便利な会議室、カンファレンスルーム等、様々な席をご用意しております。また、クルーによる有人受付、業界で唯一第三者認証を取得している高セキュリティ環境で、安心してご利用いただけます。複合機など業務に役立つ設備や、無料のお菓子、ドリンクが提供されているのもうれしいポイントです。お気軽にご利用ください。

- 対象会員:特別会員A・B
- サービス内容:「ワークスタイリング」を特別優待料金で利用可能
- サービス施設・利用方法: LINK-J HPをご覧ください、メールにてお問い合わせください。



02

三井不動産グループが展開する 全国のホテル・リゾートをお得に利用可能

北海道から沖縄まで、数多くのホテルを展開する三井不動産グループ。LINK-J特別会員の皆様は、この「三井ガーデンホテルズ」や「ザ セレスティンホテルズ」、「sequence」など、三井のホテル・リゾートをお得な法人価格で利用することが可能です。出張はもちろん、3親等以内のご家族も利用可能なので、忙しい仕事の合間のリフレッシュにも活用できます。対象となるのは全国40超のホテルです。LINK-Jが提供する「場」のひとつとして、ぜひご利用ください。

- 対象会員:特別会員A・B・C
- サービス内容:対象のホテル・リゾートをお得な法人価格で利用可能
- サービス施設・利用方法: LINK-J HPをご覧ください、メールにてお問い合わせください。



LINK-J NEWS LETTER

LINK-Jと“LINK”する情報のプラットフォーム

28

LINK-J NEWS LETTER

LINK-Jと“LINK”する
情報のプラットフォーム

LINK-J
Life Science Innovation Network Japan

vol

28

Mar 2025



Pick up! LINK-J's Events

海外展開をめざすスタートアップをサポート 「UNIKORNファミリー」の学びとキズナ

2025年も
継続決定！

活用していますか？ LINK-Jの会員サービス

サテライトオフィスや全国のホテル・リゾートを お得に利用可能



連載コラム

MIYAMAN'S COLUMN



ここが不思議だ、我が国のバイオベンチャー市場(11) 政府は腹を据え支援を、中途半端な支援はありがた迷惑



今年は巨額な補正予算が計上されたため、政府のバイオや生命科学に対する補助金が期待できる状況だ。政府も創業ベンチャーの支援にも力を入れることを政策として掲げている。

しかし、本当に来年度の予算にも期待できるのだろうか？従来の政治状況との最大の差は自民党・公明党が少数与党であるという点だ。野党の少なくとも一派を味方につけなくては本予算が議会を通らない。そこで今起きているのが、野党が政府の予算案に賛成するための条件闘争である。国民民主党の103万円の壁から始まった議論は、維新の会の公立・私立を問わない高校無償化に拡大しつつある。表現は悪いが、今年の夏の参議院選挙をにらみ、与野党は成果を上げるため目の前の予算を奪い合いあっている。そこには一貫した政策というものが見えない。いつ前言が翻るかもわからない状況だ。実際、高額医療費の増額に関しても、厚労省の提示した案は患者団体などの動きによりたった2週間で、修正を迫られた。従来のように政府は自民党に根回しすれば、予算が確定するという安易な、しかし安定性のある予算策定はもうできなくなったと言えるだろう。暫くはあらゆる政策で右往左往が続きそうだ。民意が反映される良い面もあるが、票獲得のための人気取りによって、国が進むべき道が歪むリスクも高い。

こうした状況を解った上で、敢えてバイオや創業支援の来年度予算に要求を突きつけるとすると、あまりに助成や補助額が中途半端

であることである。AMEDの新薬開発の予算はバイオベンチャーにとってまことにありがたい予算であるが、国が積極的にリスクを取るというならば、非臨床試験やフェーズ2Aまでの治験をそれぞれ完了するに足る予算を出すべきだと思う。補助率や助成額が中途半端であるため、アカデミアもベンチャーもそれぞれ安心して新薬開発に取り組めない。常に不足分の資金調達を進める必要がある。政府のリスクマネーが潤沢に供給されれば、その資金で進めた成果や知財を基に、ベンチャー・キャピタルや事業会社からの資金調達やライセンスが起こる好循環が起こる。八方美人の中途半端な資金のばら撒きではなく、選別集中投資こそが必要だ。そのために、採択件数が絞られても良いと今腹を括るべきなのだ。当然、審査委員の能力も問われることになる。

宮田 満 氏

東京大学理学系大学院植物学修士課程修了後、1979年に日本経済新聞社入社。日経メディカル編集部を経て、日経バイオテック創刊に携わる。1985年に日経バイオテック編集長に就任し、2015年に株式会社宮田総研を設立、新Mmの憂鬱などメディア活動を開始。2017年、株式会社ヘルスケアイノベーションを設立、2020年6月よりバイオ・先端医療関連のベンチャー企業に投資を開始した。厚生労働省厚生科学審議会、文部科学省科学技術・学術審議会、生物系特定産業技術研究支援センターなど、様々な公的活動に従事。

一般社団法人ライオン・エン・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-3-9 日本橋・イナビル2階
TEL 03-3241-4911 FAX 03-3241-4912 URL <https://www.link-j.org/> <https://www.facebook.com/link0324/>

株式会社ライオン・エン・イノベーション
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウン・イースト8階
TEL 03-4580-9107

Pick up! 海外展開をめざすスタートアップをサポート「UNIKORNファミリー」の学びとキズナ

LINK-Jは、2024年、東京都が実施する「TOKYO SUTEAM」の協定事業者にて採択され、ライフサイエンス分野で事業を展開するスタートアップの英国および欧州進出を支援するプログラム「UNIKORN」を実施しました。

2024年2月から書類選考やピッチ審査を経て、AdvancedコースとEssentialコースで合計8社を採択し、さまざまなサポートを提供しました。コースによって支援内容が一部異なりますが、たとえば、専門家・プロフェッショナルによる、**メンタリングやレクチャーなどのオンラインセッション**では、英語での商談に慣れるための「模擬ビジネス商談」、海外進出に向けた具体的な「Go-To-Market」戦略（G2M）策定のためのセッションを行いました。また、UNIKORNメンターとのショートディスカッションや情報交換を行う「Breakfast Meeting」も開催。キズナを深めていきました。2024年7月17日には、Plug and Play

Japan社とLINK-Jが共催で「**Rising Biotech Challenge & UNIKORN 合同コミュニティイベント ～グローバルを目指すイノベーターの共演～**」を開催。採択企業によるピッチを行いました。さらに、2024年10月9日～11日に横浜で開催された「**BioJapan2024**」でも、LINK-Jブースでピッチを実施。多くの方に聞いていただきました。

速報！ 2025年も継続決定！

LINK-Jは2025年も「TOKYO SUTEAM」に延長採択され、「**UNIKORN**」プログラム第二期を実施することとなりました！
我こそはという方のご応募をお待ちしています。
詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.link-j.org/news/article-45089.html>



UNIKORNファミリー～2023年度「UNIKORN」採択企業8社

Advancedコース	3社（順不同） 株式会社Auxilart / 株式会社iXgene / ペプチグロース株式会社
Essentialコース	5社（順不同） 株式会社アークス / エルピクセル株式会社 / PuREC株式会社 / 株式会社FerroproCure / SyntheticGestalt株式会社

「UNIKORN」メンター（順不同）

英国	- Dr Tim Hart (Biospire UK Limited) - Mr Samuel Conway (Executive Chair, Startup Mentor, Experienced Startup CEO, and Consultant) - Dr Marcus Yeo (CEO, AscendBio Ltd)
日本	- Mr Takafumi Horii (President & Representative Director, AstraZeneca K.K.) - Mr Toshihiro Ishikiriyama (Member of the Board, Rege Nephro Co., Ltd.) - Ms Makiko Iwai (Managing Director, Corporate Clients, Investment Banking, Citigroup Global Markets Japan Inc.) - Dr Nobutoshi Matsushita (Ph.D., Board Director, Chief Production Officer, Human Life CORD Japan Inc.; Former Board Director, Head of R&D of Merck BioPharma) - Mr Philippe Fauchet OBE (Venture Partner, 4BIO Capital) - Dr Kihito Takahashi (MD, Ph.D., Head of R&D/Medical Affairs Hub Japan, Swedish Orphan Biovitrum Japan) - Mr James C. Feliciano (President, AbbVieGK)

2024年3月時点

日本、ヨーロッパで様々なイベントを開催

BIO Europe 2024

● 2024年11月4日～2024年11月6日

「BIO Europe 2024」は、ヨーロッパ最大規模のライフサイエンス系ビジネス商談会です。スウェーデン・ストックホルムで開催された



VOICE モダリティごとに特化した展示会が増えるなか、超先端的なものも含む幅広いモダリティを網羅する大型展示会であり、業界の動向・モメンタムにキャッチアップするのに有益



VOICE 収穫の多いイベントでした。大手製薬メーカーとの面談で具体的なフィードバックが得られたほか、新たに取り組んでいる分野の関連企業と出迎え、論文ではわかりにくい最新動向や裏事情を聞くことができました



Japan Night @Stockholm

● 2024年11月4日

「BIO Europe」開催初日となる4日には、日本および海外のライフサイエンス関係者にネットワーキングの場を提供すべく、LINK-J主催のネットワーキングレセプションを開催しました。今回は、もともと郵便局だったというクラシカルな会場に、UNIKORNファミリーと、「BIO Europe」に参加する企業やスタートアップ、アカデミア、ベンチャーキャピタルなど約150人が集合。日本にいる時とはちょっと違った環境でフランクに交流が行われました。



イベントの舞台裏

LINK-J担当
事業部 安賀博子



海外の大きな展示会初日の夜に合わせてLINK-Jが現地で開催する「Japan Night」は、参加者が年々増え、恒例のイベントになりつつあります。今年はいつ開催するの？とお尋ねいただくこともあるほどです。現在は、1月の「JP Morgan Healthcare Conference」、6月の「BIO International」、11月の「BIO Europe」のそれぞれに合わせて開催しています。製薬・スタートアップ・アカデミア・行政など多様なセクターが一堂に会する価値あるネットワーキングの場として、また日本でも普段は会えない方と会う機会としても活用いただいています。



VOICE 日本企業に興味のある方が多くいてよかったです

VOICE とても有意義な出会いがありました

UNIKORN Final Luncheon in London

● 2024年11月12日

「UNIKORN」の集大成として、採択企業（Advancedコースのみ）とメンターが集い、ピッチと交流会を開催しました。採択企業が欧州で事業を行うことの役に立つよう、ビジネスネットワーキング・規制対応・法人設立サポートなどの事業面で「UNIKORN」ファミリーの今後の支えとなるような英団体をゲストとして招待。ロンドン市長主導で設立されたライフサイエンス分野の産業化を推進する団体MedCityなどと交流を深めました。



イベントの舞台裏

LINK-J担当
事業部 林 幾雄



メンターは、想定以上にメンタリングセッションを実施するなど、積極的にサポートを行ってくれました。特に今回は現地で直接お会いすることもでき、臨床試験のパートナーや共同研究先になりそうな企業との面談もアレンジしてくれました。参加企業からは、プロアクティブなディスカッションをすることができたという感想をいただいています。

「UNIKORN」が目指したのは、継続的な支援になること。プログラムとしては一旦終了ですが、Advancedで参加した3社とも「この後も繋がりを保っていききたい」と言ってくださっていて、主催者冥利に尽きます。できれば、第二期、第三期…という風に、このコミュニティを継続して育てていきたいと考えています。



VOICE メンターの方が素晴らしい方で、当社のビジネスを深く理解してくれており、ただ相手をつなげるだけでなく、ビジネスにつながるようにしっかりとスを出してくれると感じました

VOICE UK滞在中は最終日にも様々な方と知り合える機会を用意してくださってもいて、非常に良かったです

VOICE 引き合わせてくださった企業とは、実際に協業の話が進んでいます